

---

# 飛ぶのが怖い

キップル

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

飛ぶのが怖い

### 【Nコード】

N7322J

### 【作者名】

キップル

### 【あらすじ】

「えっ、彼が自殺した？ 全然そんな兆候もなかったのに……」  
つてことあるじゃないですか。  
でも僕とか、読んでいる一部の人には分かります。  
こんなもんなんです。

**(前書き)**

2005年に書いたものです。出来事自体はもうその10年以上もまえに起きたことですよ。

自殺を考えたことがあります

いいえ、「考えた」ではなくって、「しようとした」と言ったほうがいいのかな

毎晩電話をかけてくる女の子がいます、タイプじゃなかったんですけど、

いろいろお話するうちに、「情が移って」しまったわけです  
かなり本気になってしまったんですが、ある時知ってしまったんです  
彼女がとんでもない嘘についていることを、とんでもない女だった  
ことを

僕だけじゃなかったんですよ、早い話

それどころか婚約者もいたんですよ、信じられますか？

僕が聞いた「今日は帰りたくないの」っていうセリフ、何人も聞いてたらしい

もうね、世界が180度ひっくり返りますよ

それまでも失恋はしてましたが、このときはそんなもんじゃない  
一切、なぐんにも信じられなくなりましたよ

というか、生き続けるのがもんのすごい苦痛になったですよ

お金もそこそこあるし、仕事も順調、体は健康そのもの

しかし、一瞬一瞬が刺さって激痛、耐えられない

会社の他の部署に用があつて、エレベータが来ないので

やむを得ず非常階段を使ったときです、ビルの外についてるやつね  
踊り場でふと下を見たんです

そのまま落ちそうになつたんです、無意識にか、意識的にか

「落ちればいい」と、感じたんですわ、「落ちたい」と

しばらく手すりにもたれて、地面を見てました

そのとき偶然なんです、同僚がやはり階段を登ってきました

「何やってんの？」

そうしたら僕はとたんに恐くなって、手すりから離れました  
なんとなく誤摩化しましたが、実際僕はヘナヘナ泣きそうでした  
彼に感謝しています、いや、偶然にかな、神様にかな？

それから僕は、「落ちそうなところ」を避けるようにしました  
高い所に行けば、きっと僕は「飛ぶ」だろうと思ったからです  
「生き続けたくない」と「死にたい」は違うんですよね  
生きているのが苦痛ではありませんが、死にたいわけじゃない  
だから苦労しましたよ、飛ばないために、死なないために

彼女のことを今はどう思っているかというと、複雑ですが

「あんなやつも、いるんだな」というところですよ

また会いたいとは、ちつとも思いません

ひとつ言えるのは、「あんとき死なないでよかった」ですよ  
だって「あんなやつ」みたいなために死ぬなんて、あほらしいでし  
よ？

後悔してない自殺した幽霊なんか、絶対にいないと思う

「悲劇」の最中にそう納得することは、とても難しいんですが真実  
なんですよ

なんだかんだいって仕事などは「バリバリ」やってみましたから

その痛手を取りこえることも「バリバリやったらう」と決心

仕事で言うところ「クレーム処理」(？)ですが、逆にそれを快感にし  
てしまいましたよ

「くっそー、克服したろーじゃねーか、見てろよバーカ、へっへっ」  
みたいな

その後、彼女が、当時の婚約者ではない男と結婚したと聞きました  
それから、離婚したとも聞きました

今は、彼女のことは恨んではいませんけど、あえて愚痴を吐くのなら  
「おかげで、高い所が恐くなっちゃったじゃないかよー」かな？

でも、あれですよ、「いつかパラグライダーやってみたい」と思っ  
てる今の自分には  
ちよつと満足かも、飛ぶのは怖くないし  
カタルシスではないんですよ、ここまで読んで下さった皆さん  
「あー、死ななくてもオツケーですよ、ほんと」と伝えたいわけで  
もう寝ましようね、明日がいつの間にか今日になってるわけで  
そんなもんです

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7322j/>

---

飛ぶのが怖い

2010年10月10日18時55分発行